

保護者様

北九州市立西門司小学校
校長 上 杉 良 子

令和元年度本校教育活動についての保護者アンケート(学校評価)の結果について

吹く風にも春の兆しを感じられる季節となりました。

保護者の皆様方には、日頃より本校の教育活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、「令和元年度本校教育活動についての保護者アンケート(学校評価)」に、多くの保護者の方々のご記入くださり、ご提出いただきましたことに深く感謝申し上げます。本校の教育活動改善のために、たくさんの貴重なご意見をお寄せくださいました。それらを集約し、下記のようにまとめました。

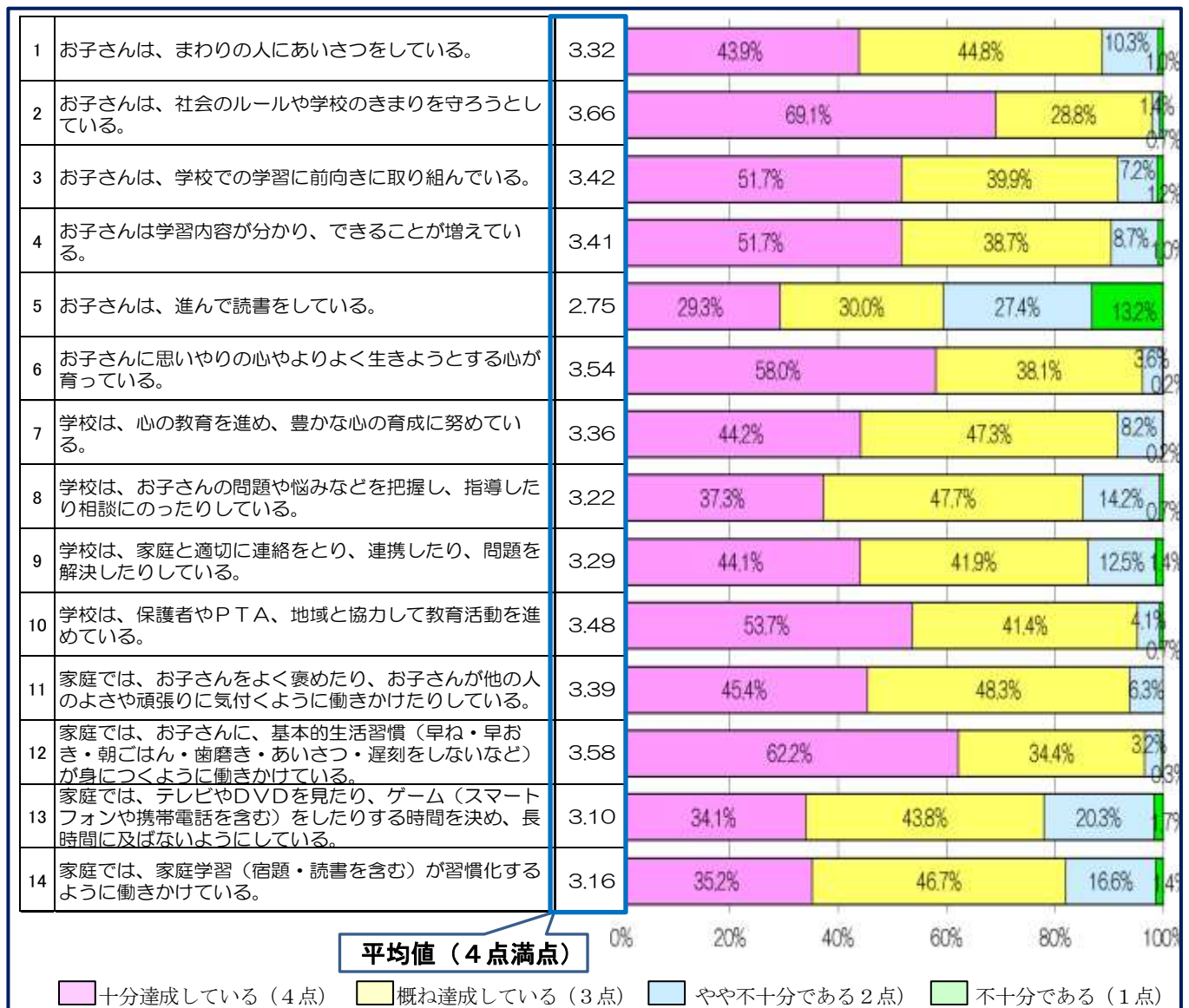
皆様方からいただいたご意見は、多岐にわたっておりましたため、重複した内容や個別にご返答するべき事柄等、掲載していないご意見もあります。予めご了承ください。

本アンケートや学校評議員会でいただいたご意見を参考に、西門司小学校のよりよい学校教育の推進に役立ててまいりたいと考えます。今後とも、ご支援とご協力を賜りますようお願い致します。

記

1. 評価項目の集約結果

「令和元年度本校教育活動についての保護者アンケート(学校評価)」項目別集計結果



問1「お子さんは、まわりの人にあいさつをしている。」について

「十分達成している」・「概ね達成している」と回答された割合は88.7%で、昨年度と同程度でした。本校では、計画委員会の働きかけで、異学年1クラスずつがペアとなり、月に2～3回朝の登校時間に正門と裏門に分かれてあいさつ運動を実施しています。また、PTAの育成委員会を中心に保護者の方々も定期的にあいさつ運動をしてくださっています。さらに、登下校の見守りをしていただいている安全パトロール隊をはじめとする地域の方々も積極的にあいさつをしてくださっています。あいさつは、お互いに気持ちよく生活をするための基本であり、人間関係を深めたり広げたりするための第一歩です。あいさつの意義も含めて引き続き指導に力を入れて、更なる実践につなげたいと思います。ご家庭でもお声掛けをよろしくをお願いします。

問2「お子さんは、社会のルールや学校のきまりを守ろうとしている。」について

全ての項目の中で、「十分達成している」・「概ね達成している」と回答された割合も平均値も最も高い結果です。規則の尊重につきましては、道徳の内容項目にもあり、決まりやルールを守ることの大切さや守らないことによる問題点等について学年の発達の段階に応じて、しっかりと考えさせながら、今後も継続した指導を行ってまいります。また、朝の会や帰りの会、学級活動等でも「西門司すくすく」に書かれたことを基に、安全で皆が気持ちよく安心して生活できるように、働きかけたいと思います。特に、交通ルールについては、門司警察署や交通公園、安全パトロール隊の方々の協力を得ながら、次年度も「交通教室」・「自転車教室」を実施するとともに、日々の安全指導の徹底に努めてまいります。

通学路等で気になる個所や気になる行為など、何かお気付きのことがありましたらお知らせください。

問3「お子さんは、学校での学習に前向きに取り組んでいる。」について

「十分達成している」・「概ね達成している」と回答された割合は91.6%で、昨年度より若干高くなっていました。6年生に実施した本年度の「全国学力・学習状況調査」でも、国語の勉強が「好き」・「どちらかといえば好き」と回答した児童の割合は全国平均より高く、国語や算数の勉強が、将来、社会に出たときに「とても役に立つ」・「役に立つ」と回答した児童の割合も、全国平均を上回っていました。今後も、知識・理解や技能の定着だけでなく、学ぶ意欲を高めたり、学ぶことの価値や意義、自己の伸びを実感したりできるような授業づくりに努めてまいります。

問4「お子さんは学習内容が分かり、できることが増えている。」について

「十分達成している」・「概ね達成している」と回答された割合は90.4%で、昨年度と同程度でした。学力向上は、本校の重要課題であると全職員が認識し、専科指導や少人数指導、TT授業（複数の教員による授業）など授業形態や指導方法を工夫し、授業改善に努めるとともに、朝自習の時間なども活用して学力の定着を図っているところです。また、家庭学習の定着化についても、学校通信等を通じて保護者の方々にご協力を仰ぎながら促進しております。今後も全職員が一丸となってきめ細かに対応し、指導の充実を図ってまいります。

問5「お子さんは、進んで読書をしている。」について

「十分達成している」・「概ね達成している」と回答された割合が59.3%で、昨年度よりも約6ポイント上がりましたが、昨年度と同様に平均値も最も低い項目です。6年生に実施した本年度の「全国学力・学習状況調査」では、読書が「とても好き」・「好き」と回答した児童の割合は、全国平均を大きく上回っていますが、読書時間は、全国平均より短い結果でした。学校における読書につきましては、週に1時間各学級に割り当てられた図書室使用の時間を中心に、雨の日の休み時間や給食の準備時間など読書に親しむ機会をできるだけ設けるようにしています。また、「子ども読書の日」の取組や、図書委員会児童が中心となって行う「図書集会」や本の読み聞かせ、おすすめの本の紹介などの取組、様々な教科等における図書を活用した調べ学習、読み聞かせボランティアの方々による絵本の読み聞かせなど、読書への関心を高める取組を進めています。さらに、家庭学習の中にも読書を取り入れるなどの取組を行ってはいますが、今後さらに工夫していく必要があると思います。読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。読書活動の習慣化につなぐために、学校での取組に加え、ご家庭においても「ノーテレビ・ノーゲーム・読書の日」・「家読(うちどく)」が推進されるように、ご家庭の協力も得ながら一層の働きかけを行っていきたいと思います。

問6「お子さんに思いやりの心やよりよく生きようとする心が育っている。」・問7「学校は、心の教育を進め、豊かな心の育成に努めている。」について

心の教育については、学校の教育目標の一つであり、道徳の時間や特別活動を中心に教育活動全体を通じて重点を置いて指導しているところです。特に、本年度は、市教委の道徳教育推進事業の委嘱を受け、道徳の時間の充実に努めています。今後は、「改善方針」に沿って指導をさらに充実させ、道徳的実践力が高まり、家庭や地域にも広がるように努めていきたいと思っておりますので、保護者の皆様も、引き続きご協力をお願いいたします。

問8「学校は、お子さんの問題や悩みなどを把握し、指導したり相談にのったりしている。」について

「十分達成している」・「概ね達成している」と回答された割合は85%で、昨年度より若干下がっています。先ずは、日頃から温かい学級経営・学級集団づくりに力を入れ、悩みを抱えなくて済むように努めたいと考えています。また、職員一人一人がしっかりとアンテナを高くして、小さな変化にも気を配ったり、いつでも相談しやすい環境を整えたりして居心地のよい学級・学校づくりをさらに進めます。

個別に意見や悩みを聞く機会については、担任が「いじめアンケート」実施後にいつも全児童を対象に設定するとともに、高学年については、担任の他に、他の学級担任や管理職も一人一人から聞く機会を設定し、相談する機会を多くもつようにしています。

加えて、本市では、昨年度から思春期の入口である小学校5年生頃から、いじめ等の問題が深刻化してくる傾向にあるため、悩みを抱えたときに気軽に相談できる環境作りの一環として、スクールカウンセラーによる全員面接を実施しています。本校では、先ずスクールカウンセラーが各学級に1時間ずつ入って、スクールカウンセラーの仕事についての理解を図り、身近に感じられるようにした上で、一人ずつの面接を行っています。

保護者の皆様も、お子様のことでお気付きのことがありましたら遠慮なくお知らせください。

問9「学校は、家庭と適切に連絡をとり、連携したり、問題を解決したりしている。」について

「十分達成している」・「概ね達成している」と回答された割合は86%で、昨年度より若干下がっています。問題の早期発見・早期解決には、家庭との連携が欠かせません。また、教育効果を高めるためにも、学校とご家庭とが同じベクトルで指導・支援していくことが肝要であると考えます。今後は、ご家庭との連絡をさらに密にし、子どもの健全育成に努めてまいります。

問10「学校は、保護者やPTA、地域と協力して教育活動を進めている。」について

「十分達成している」・「概ね達成している」と回答された割合が95.1%で、昨年度よりも若干上がっています。教育は、学校だけで完結するものではありません。今後も、保護者やPTA、地域の方々の温かいご理解とご協力を得ながら、教育活動の充実にも努めてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

問11「家庭では、お子さんをよく褒めたり、お子さんが他の人のよさや頑張りに気付くように働きかけたりしている。」について

本年度新たに設けた項目です。「十分達成している」・「概ね達成している」と回答された割合は93.7%で、殆どのご家庭で、お子さんを褒めたり、他の人のよさや頑張りに気付くような働きかけをしたりして下さっていることに感謝申し上げます。学校でも、教職員による働きかけだけでなく、児童からも代表委員会を通じて学校教育目標の達成に向けて「咲かせよう！4つの花（優しさ・元気・正しさ・がんばり）」を呼びかけ、互いの成長を認め合う取組を行っています。教室や廊下に4色のたくさんの“花”が咲いています。また、全校児童を対象として実施している「生活アンケート」においても、「自分には、よいところがあると思いますか。」の問に対し、肯定的な回答をした児童の割合が昨年度よりも高くなっています。

褒められる経験や他の人のよさや頑張りを認めようとする気持ちは、自己肯定感や有用感や自信、さらには自他ともに大切にしていこうとする心へと繋がっていくものと考えます。子どもの発達の段階に応じて継続した取組を行ってまいりますので、今後とも積極的な働きかけをお願いします。

問12「家庭では、お子さんに、基本的生活習慣（早ね・早おき・朝ごはん・歯磨き・あいさつ・遅刻をしないなど）が身につくように働きかけている。」について

基本的生活習慣が身に付くように、ご家庭で積極的な働きかけをして下さっていることに感謝申し上げます。基本的生活習慣の定着は、生活リズムをはじめ今後の生活に大きく影響しますので、更に定着化が図られるように、学校でも働きかけたいと思います。ご家庭でも、引き続きよろしくお願いいたします。

問13「家庭では、テレビやDVDを見たり、ゲーム（スマートフォンや携帯電話を含む）をしたりする時間を決め、長時間に及ばないようにしている。」について

「十分達成している」・「概ね達成している」と回答された割合は77.9%で、他の項目に比べやや低い結果でした。学校でも、生活時間全体を見直し、規則正しい生活の大切さや自由時間の過ごし方、長時間ゲームをすることによる様々な影響等についても、発達の段階に応じて教材を活用しながら指導をしています。また、6年生を対象にネットトラブル防止の「規範意識教育講演」を実施したり、9月の学習参観後に、全学年保護者も一緒に携帯やスマートフォンのトラブル防止のためのルール作りのDVDを視聴していただいたりして働きかけを行っています。そのDVDの中にもありましたように、実践力を高めていくには、保護者の方々のご協力が不可欠です。今後

とも継続してご協力いただきますようお願い致します。

問14 「家庭では、家庭学習（宿題・読書を含む）が習慣化するように働きかけている。」について

ご家庭で積極的な働きかけをしていただいていることもあり、前述の「生活アンケート」では、家庭学習を「1時間以上する」と回答した児童の割合が昨年度より5%以上も増えるとともに、「全くしない」と回答した割合が、大幅に減少しました。また、「家で、自分で計画を立てて学習している」と回答した児童の割合も高まっています。

復習や予習を行うことで、内容の確実な定着や学習意欲の向上、主体的な学びへとつながります。家庭学習の課題の出し方を工夫したり、範となるノートを廊下に掲示したり、授業の中で取り上げたりするなど、発達の段階に応じて自主学習についても積極的に進めているところです。今後も、さらに工夫を加えながら継続して進めてまいりますので、ご協力をお願いします。

2. 学校の教育についての感想・意見から

＜ よかった点 ＞ 学校の取組や職員への励ましのお言葉、子ども達の成長した具体的姿などをたくさんご記入いただきまして、ありがとうございました。私たち職員一同励みになりますとともに、ご期待と信頼にお応えせねばという強い思いがしております。お子様の力をさらに伸ばすことができるよう、全職員で充実した教育活動に努めて参ります。今後とも、ご支援・ご協力をよろしく願いいたします。

- ❖ 5年生の「レッツ園児ヨイ」は、これから入学する園児とその親御さんにとってとても心強い企画だと思うので今後も続けていってほしいと思います。
- ❖ 今回初めて、日曜参観があり、夫婦で参加できてよかったです。
- ❖ 体育大会や持久走大会など毎年改善されているところ。
- ❖ 家庭科（調理実習）で専科の先生や栄養士の先生も入って、指導してくださっていること。
- ❖ 校長先生や教頭先生をはじめ、我が子に携わってくださっている先生方は、皆さん温かく接してくださること。
- ❖ 担任の先生が親身になって何かあれば迅速に対応してくださっています。
- ❖ 社会科見学でいろいろなものを見せてもらい、世界を広げてもらっています。
- ❖ 持久走大会で身近な子を目標に立てどれだけ頑張れたかを可視化できたこと。
- ❖ 運動会等の学校行事で大きなトラブルがないこと。
- ❖ 机上の勉強はもちろんですが、体験型（車いすバスケットや演劇）の学習は、子どもにとって大変いい勉強になったと思いますし、「百聞は一見に如かず」と言われる通り、心を豊かにし、いろいろなことを体験させていただけることは今後も続けていただけたらなと思いました。
- ❖ 先生方が、とても熱心に平等にしてくださり感謝ばかりです。
- ❖ 安心して学校に子どもを預けています。今後もよろしく願いいたします。
- ❖ 心配事を相談したとき、学校がアンケート等で心配事を把握、対応してくださったこと。
- ❖ クラスの人数が多いにもかかわらず、先生が一人ひとりをよく見てくださり、細かなところや些細なことでも見つけてほめてくださいます。また、苦手なところはできるようになるまで、励ましてくださったり、最後にはできるようになったりなど、細やかなご指導にとっても感謝しています。
- ❖ 先生方は、よく頑張ってくださいと思う。感謝しています。
- ❖ 子どもの話をよく聞いていただいているようで、安心しています。
- ❖ 担任の先生が、授業が終わった後、分からない子供にとってもよく教えてくださっていました。とても感謝しています。
- ❖ 担任の先生が、子どもたちに向き合ってくださいしているところ。
- ❖ 担任の先生だけでなく、担任外の先生や管理職の先生もとても親身になってくださるので安心して子どもを学校に通わせることができます。
- ❖ 校長先生をはじめ先生方の日々のご指導に感謝しております。ありがとうございます。
- ❖ 子どもたちを思い、日々向き合ってくださいありがとうございます。

- ❖ 担任の先生は、お忙しい中、よく子どもを見てくださっています。いつも本当にありがとうございます。
- ❖ 何かあった時の対応が迅速で的確で安心します。
- ❖ 今までできなかったことが、できるようになったところ。(学習や体の動き・運動)
- ❖ クラスの中で、前に出て発表する場があることで緊張しながらも楽しんで取り組んでいました。
- ❖ 毎日、必ず程よい量の宿題があり、勉強に取り組む習慣ができてよいと思いました。
- ❖ 復習にも力を入れた宿題プリントや家庭学習ウィークは、自ら計画して勉強する大切さを学べるよい機会だと思います。
- ❖ 学校の宿題を出す量が本人にとっては多いと感じることもあるようですが、わからないところの予習、復習につながっているので、大変担任の先生には、感謝しています。
- ❖ 縦のつながりを大切にされていて、下級生とゲームをしたりお世話をしたりとても楽しいと子供が言っていました。
- ❖ あいさつ運動がとっても良いと思います。子どもたちも、その日だけでも意識してあいさつして最終的にちゃんとあいさつできる子になってほしいです。
- ❖ 現状で満足です。
- ❖ 地域と連携した祭りや、家庭学習など子どもと一緒に楽しんで参加させていただきました。給食試食会でも校長先生のお話にいろいろな子育てのヒントがあり、勉強になりました。今後もぜひ続けてください。ありがとうございます。

< 改善点 >ご意見をいただき、ありがとうございました。すぐに生かしたい・取り入れたい・既に行っていることを◎、時間を少しいただいて着実に成果をあげられるよう取り組みたいことを○で表しています。

・ パレット学級やパステル学級の存在意義や学級での取り組みなどを子どもたちや保護者にもっと正確に伝えていただきたいと思います。

◎ 特別支援教育につきましては、昨年5月に策定された本市の「教育大綱」や「第2期北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」の12の施策の内の1つに掲げられており、本校の学校経営方針の中にも「一人一人の教育的ニーズに応える特別支援教育の充実」を挙げています。昨年4月26日配布の学校通信に特別支援教育について詳しく載せてはいますが、さらなる働きかけをしてまいります。また、児童につきましては、学級活動や道徳の時間等で教材を通して学んだり、交流学习で実践的・体験的活動を通して学んだりしていますが、これまでの取組をさらに工夫しながら進めていきたいと思っています。

・ ネットなどについて小さなころからしっかり教えていける、学んでいけるようになればいいなと思います。学校だけでなく家庭でも教育しなければならないので保護者向けでもあれば、育てる側としても勉強になります。

◎ 問13に記載しましたように、発達の段階に応じて教材を活用しながら指導をしていますが、指導の充実にさらに努めてまいります。また、6年生を対象に専門機関との連携を図ったネットトラブル防止の「規範意識教育講演」については、本年度は学習参観を兼ねていたために、保護者のご参加は6年生だけでしたが、次年度は、全学年の保護者の方々も参加していただけるようにしたいと思います。是非ご参加ください。さらに、学習参観後に全学年を対象にした携帯やスマートフォンのトラブル防止のDVDの親子での視聴を、次年度も継続して行う予定です。

・ 陸上記録会や連合音楽会がなくなった理由(この4月から新しい学習指導要領が始まり授業時間を確保しないといけないことや、先生方が子供たちと向き合う時間を確保することなど)は、十分承知していますが、今後も何か発表する機会や他校の子どもさんと運動をする機会を持っていただけたらと思います。

◎ 他校の児童と一緒に運動をする機会につきましては、5年生のバスケットボール大会は従来通り藤松小学校と行い、6年生の陸上は、同じ中学校区の藤松小学校と一緒に学ぶ機会を設けたいと考えています。何か発表する機会につきましては、校内での取り組み方を工夫したいと思います。

・ 仕事の都合上、持久走大会を午後にしていただくと助かります。

◎ 午後からの実施では、給食後すぐに始めるわけにはいかないと、例えすぐに昼休みの時間から始めたとしても、6校時終了時刻までに全学年が終わらないので、午後からの実施は厳しいです。

- ・ どの学級も、沢山の先生方から関わっていただいたり、きめ細かに対応していただいたりできると助かります。
- ・ 高学年になると勉強が難しくなってくるので、補助の先生を常につけていただくとありがたいです。

○ 5・6年生は学年を4～5グループに分けて、算数の巻末の単元で少人数指導を行うなど、高学年を中心とした専科指導や少人数指導、TT授業（複数の教員による授業）など授業形態や指導方法を工夫しながら学力向上につながるように努めています。また、特別支援教育担当教員や管理職、週に1～2日間来られる学力向上推進教員や新採指導教員などもたくさん授業に入り、指導の充実を図っています。さらに、新学習指導要領では、3・4年生で外国語活動、5・6年生で外国語科が新たに加わりますが、本市では、既に昨年度から先行実施しており、外国語活動にはALT、外国語科には日本人ALTの先生が各学級に入って、担任と連携しながら授業を行っています。加えて、<よかった点>のご意見の中にもありましたように、技能の定着と安全面への配慮から家庭科の調理実習の際には、専科指導の教員や栄養教諭も入って指導にあたっています。私も、調理実習前に、手順や栄養についての理解を深めるために実験をして見せたり、裁縫の学習の際に個別指導に回ったりしています。その他にも、低学年や中学年においても、学習内容によって、地域の方々にゲストティーチャーとして来ていただくこともあります。多くの教員がいろいろな授業場面に関わり、きめ細かに手厚く指導したいとは思いますが、限られた人員配置の中で、全学年全学級に毎時間だけでなく、高学年の全学級に常に複数体制は、現状では困難です。

- ・ 他学年児童と交流するような取組があるとよいと思います。

◎ 年度当初には、6年生が1年生の教室でお世話をしたり、歓迎遠足に手をつないで行ったり、給食が始まると掃除時間に掃除の仕方を教えたりなど、交流の場を多くもっています。また、「子ども読書の日」には、6年生が1年生に、5年生が2年生に絵本の読み聞かせをしたり、新体力テストの測定の際には、種目によっては、6年生が1年生に手本を見せたりの回数を数えたりするなどの関わりをもっています。さらに、生活科の学習では、2年生が1年生に校内を案内して回ったり、教室に招待して手作りおもちゃで遊んだりする活動にも取り組んでいます。中学年においても、4年生が3年生にクラブ活動や学習内容について紹介する取組も行っています。5年生は、総合的な学習の時間に校区の幼稚園や保育園に出かけていき、幼児とのふれあい体験を行っています。集会委員会や体育委員会の児童による取組では、異学年でペアになって活動をすることがよくあります。今後も、異学年と関わる場を工夫し、思いやりの心を育てていきたいと思っています。

- ・ いくつかの保健だよりで虫歯になっている児童の率が全国平均よりも高いと書いてあったので、歯磨きタイムを設けてはいかがでしょうか。

○ 本校では、虫歯の罹患率が全国平均よりも高いこともあり、毎年1年生に歯磨きのブラッシングの指導に取り組んでいます。次年度は、企業のご協力による歯磨き指導も予定しています。食べたらずい歯を磨く習慣化のためにも、全学年で歯磨きタイムをとることが望ましいのですが、本校の教室のある棟のどの階にも両端にあるトイレの前と、その間に1か所しか手洗い場がなく、蛇口の数も大変少ないことから歯磨きタイムの全校実施は困難です。児童によっては自主的に歯磨きをしています。今後は、うがいなども検討してみたいと思います。

- ・ 場所によっては、トイレが汚れていたり、スリッパがなかったりするので気になります。

◎ 職員も定期的にトイレや手洗い場の清掃を行っていますが、だれもが気持ちよく使えるように、トイレの清掃の仕方についての指導と併せて、トイレの使い方についての指導を継続して行います。スリッパにつきましては、補充したりきれいな物と交換したりしたいと思います。

- ・ 新聞を活用した授業を行ってみたいのではないのでしょうか。

◎ 国語科の学習で新聞についての単元がありますが、日常的な取組として、高学年でその時々の記事を使ったワークシートを朝自習等でもすることもあります。また、児童が関心をもちそうな記事を全学級に掲示するようにしています。

本校の教育活動改善のために、様々な点からご意見を頂戴し、ありがとうございました。いただいたご意見を参考に、よりよい学校教育の推進に役立ててまいります。今後とも、温かいご理解とご協力をよろしくお願い致します。

改善方針

3. 改善方針

目指す子ども像

○ねばり強く学ぶ子ども（**がんばり**）・・・自主・真剣・継続 ○たくましい子ども（**元気**）・・・健康・不屈・信念
○自他を大切にする子ども（**やさしさ**）・・・責任・協働・誠実 ○規律正しい子ども（**正しさ**）・・・正義・礼節・奉仕

(1) 「やさしさ」・「正しさ」

- 学校の教育活動全体を通じた道徳教育の推進・・・道徳的価値の自覚
各教科等の特性と子どもの発達の段階を踏まえ、道徳の時間との関連を図った指導
 - 道徳教育の要である道徳の時間の内容のさらなる充実
 - ・豊かな体験活動の充実 ・いじめ（ネットトラブルを含む）の防止・・・家庭との連携
 - ・自己の生き方 ・多面的・多角的に考え、議論する道徳
 - 道徳的実践力の向上
家庭や地域のご協力を得ながら、学校・家庭・地域において道徳的実践力が高まり、広がるような働きかけ保・幼・小・中並びに地域・家庭との連携を強化し、心の教育の充実促進
 - 自他のかげがえのなさを実感できる“要場所（いばしょ）”づくりの更なる推進
 - 円滑な人間関係の構築やコミュニケーション能力の向上
様々な人との関わり（地域の方々や異年齢との交流等）
豊かな体験活動
各学年の発達の段階や児童の実態に応じた「北九州つながりプログラム」（対人スキルアップ）の実施
- 相手の立場や心情の理解・道徳的価値への気付き
- 人権学習教材「新版いのち」（北九州市教育委員会）等の資料の有効活用と家庭との連携促進

(2) 「元気」

- 北九州市学力・体力向上アクションプランの推進
 - ・体育科授業の充実 ・P D C Aサイクルの確立 ・「体力アッププラン」の確実な実施
- 新体力テストの全学年全種目継続実施
- 運動への関心を高め、運動に親しみ体力向上につながるような働きかけ
 - ・縄跳びの継続実施
- 持久力大会とそれに向けた取組強化
- 規則正しい生活や望ましい食生活の実践化を目指した健康教育や食育の推進

(3) 「がんばり」

- 授業改善・・・その学年の内容をその学年で確実に！
 - ・「分かる授業」5つのポイントの徹底
 - ・学習規律・学習習慣の徹底
 - ・アクティブラーニング（主体的で、対話的で、深い学び）
 - ・基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着 → 補充学習の強化
 - ・話し合い活動の充実
 - ・専科指導、少人数指導、T T授業などを推進し、個に応じたきめ細かな指導の充実
 - ・問題解決的な学習展開 → 思考力・判断力・表現力等（活用する力）の育成
- 朝自習時間の活用
- 家庭学習（宿題を含む）の定着化に向けた取組（時間、学年別、教科別内容）
 - ・「西門司すくすく」の活用促進配布・実施・徹底
 - ・「家庭学習ウィーク」の充実促進
 - ・家読（ウチドク）の推進
- 学習の基盤である基本的生活習慣の改善促進 ← 家庭との連携強化
 - ・生活時間の見直し・改善（ゲームやテレビの時間の短縮と約束の励行） ・早寝早起き朝ごはん

※ 家庭学習の目安の時間
15分×学年の数
(宿題＋自主学習＋読書)